

2024年度(令和6年度)

夏休みにおすすめする本

選定 北海道学校図書館協会

選定協力 札幌市学校図書館協議会

	表紙画像	書名 著者名他 ISBNコード	出版社 出版年(月) 税込価格	※選定コメント もしくは出版社による紹介など
幼児				
1		おとこのことおかあさんのための 「性」のえほん ぞうちんとはんつのくに ゆまま/作画・構成 石嶺 みき/原作・監修 978-4-04-683530-7	KADOKAWA 2024.4 1,705円	「おちんちんってなあに?」「だいじなところ」を親子で楽しく学べる小さい時から一緒に話し伝えていきたい「性」の絵本。 「おちんちんってなあに?」「だいじなところ」を親子で楽しく学べる2歳からの「性」のファーストBOOK誕生! 疑問解決! お母さんのためのQ&A。 ありそうでなかった! 2歳~5歳の男の子&お母さんのための「おちんちんの絵本」、ここに完成! 「なぜ、おちんちんがある子とない子がいるの?」、この歳の男の子にとって「おちんちん」はまだ謎の存在。おしこの仕方や洗い方、扱い方など、性のこと、大事なプライベートゾーンであることを読み聞かせながら伝えられる。
2		きみとぼく 谷口 智則/著 978-4-7999-0538-8	文溪堂 2024.4 1,650円	「きみとぼく、ぞうとねずみ、全然違うふたりだけれど、一緒のところもあるんだよ。」ひかれ合う友だちの気持ちが伝わってくる一冊。 全然違うふたり。でもね…『大きいサンタと小さいサンタ』のパオくんとチュータくんのお話。大きいと小さい。重いと軽い…ぜんぜんちがう二人だったけど、なかよしのぞうとねずみ。でも、ある日ねずみのぼくが、ずるいことをしてしまい…、ぞうはどこかへ行ってしまふ……。そのとき、ねずみがとった行動は?
3		はるなつあきふゆ クロとシロ 竹山美奈子/文 田中 ゆき/絵 978-4-265-83117-3	岩崎書店 2024.4 1,540円	色彩にあふれる世界をあえてモノクロで描き、頭の中でカラフルな世界を広げる体験が楽しめる絵本。UDフォント、オノマトペ、4拍子のリズムなど、楽しめる工夫満載のユニバーサル絵本。 どんな色がうかぶかな? どんなふう楽しもう? 楽しみ方色々! ユニバーサル絵本。モノクロの絵本を想像力とリズムで楽しめる。ストーリーを追えない幼いお子さん、知的障害があるお子さんにも。まがしさを抑えた背景色と、ユニバーサルデザイン(UD)フォントで、読むのが苦手なお子さんにも。子どもたちがそれぞれ持っている力と感覚を、しっかり使って楽しむ絵本。
4		まよなかのかいじゅう 阿部 結/作・絵 978-4-19-865789-5	徳間書店 2024.2 1,980円	真夜中の家の中で姉妹が聞いた「ごおー」の音の正体は怪獣だった? 楽しい夜を描く心はずむ絵本。 真夜中、れいちゃんのはものすごい音が目が覚めた。家のどこかで「ごおー ぱすー」という音がきこえる。となりのベッドで眠っているあやちゃんを起こし、ふたりは、くらい階段をのぼって二階へ。 お父さんとお母さんの部屋をのぞいたら、山のように大きな、大きなかいじゅうが、ベッドの上で眠っていた! かいじゅうの調査を始めたふたりは、どんどん楽しくなり…? 小さな姉妹の楽しい夜を描く、心はずむ絵本。
5		じゅんばんん じゅんばんん じゅんばんんですよ accototo ふくだとしお+あきこ /作 978-4-477-03510-9	大日本図書 2024.4 1,650円	季節は移り変わる。順番に順番に。 数えきれない年月に繰り返されてきた地球の営みが、しみ通るように伝わる。 花びらがふれると蛹はチョウチョになった。チョウチョがおりたつと綿毛は飛んで空に消えていく。季節は静かに移り変わり、鮮やかに巡る。季節を感じる絵本。
小学校・低学年				
1		キミのからだは キミのもの ルシア・セラノ/絵・文 宇野 和美/訳 シオリヌ/監修 978-4-591-18023-5	ポプラ社 2024.1 1,760円	自分の大事な体を守るためにはどうしたらいいのだろう。嫌な時は「いやだ」と言っ自分の体を守ることの大切さを教えてくれる本。 キミの体はキミのもの。触っていいか、決めるのはキミだ。嫌な時は、いつでも「いやだ」といっていい。大事な体を守るには、どうしたらいいだろう。この本をよんで、かながえてみよう。子どもを性暴力からまもる絵本。子どもを被害者にも加害者にもしたくない、すべての大人たちへ。
2		やまなし 宮沢 賢治/原作 武田 美穂/絵・構成 978-4-652-20530-3	理論社 2024.2 1,650円	川の水底の世界を描いた宮沢賢治の名作童話を、分かりやすい文章と親しみやすい絵で描かれた絵本。 5月のお話―二匹のかにの子どもが、谷川のそで、話しています。上のほうを、あわが流れていきます。おひさまの光がふってきます。ごみのかげが立ちます。魚がやってきました。そのとき、とがった何かが飛びこんできて、魚をつれさっていきました。こわがっている子どもたちの上を、花びらが流れていきます。12月のお話とともに、水底の世界を描いた2つのお話です。
3		シロツメクサはともだち 鈴木 純/著 978-4-89309-729-3	ブロンズ新社 2024.3 1,540円	花のかんむりを作ったりとなじみ深いシロツメクサの、知っているようで知らない驚きの世界を、美しい写真と共に伝える科学写真絵本。 わたしたちのこと、本当に、よく知ってる? 自分の五感を通した気づきは、驚きを生み出します。このセンス・オブ・ワンダーこそ身近な世界的美しさを知る第一歩!

4		ロバのおはなし よしだ るみ/作・絵 ヨシダ ヒロシ/原案 978-4-337-02524-0	国土社 2024.4 1,760円	「ぼくにもいろいろあるように、みんなもいろいろあるんだな…。」背中に重たい荷物をのせて、今日も村から村へ。ロバの思いは広がっていく。 「なんで ぼくばかり こんなふうにはたらかなくちゃいけないんだろう」重たい荷物を運ぶのが仕事のロバは、いつもくたくたに疲れていました。そんなロバの気持ちが、馬や牛、犬と出会い、会話をすることで、優しく変わっていくお話。
5		ネコになりたかったクモのルイージ ミシェル・ヌードセン/作 ケビン・ホークス/絵 橋本 友美子/訳 978-4-265-85220-8	岩崎書店 2024.1 1,870円	仔猫がほしいと思っていたベティおばさんの家に入りこんだクモ。ルイージと名づけられ、おばさんがのぞんでいたネコになりきっていました。ところがある日…。 毛がもじゃもじゃの大きなクモは、すむところを探していました。クモは、薄暗いすみっこでひとりぼっちでくらすなければなりません。でも、もしも、ここだったら？クモは、ルイージという名前のごネコになることに決めました。
6		なんていいひ リチャード・ジャクソン/文 スージー・リー/絵 東 直子/訳 978-4-09-725244-3	小学館 2024.2 1,980円	雨の日だけど、音楽をかければ、なんていい日…。傘を持って、くるくる踊れば雨の中で気分は最高、子どもたちがはじける。わいわい生きている！なんていい日。気持ちが晴れになり、感性をくすぐる絵本。 子どもの生命力あふれる「うつくしい一日」 雨が降る中、子どもたちは踊ったり歌を歌ったりと大はしゃぎ。傘を差しながら、外を楽しそうにお散歩します。すると、だんだん雨も止み、子どもたちのまわりがスージー・ブルーに包まれていきます。どんなときでも生命力があふれる、子どもたちの姿が気持ちいい1冊。
7		イチゴはだれにもあげないよ アイノ・マイヤ・メッツォラ/作 みずの ゆきこ/訳 978-4-7598-2421-6	化学同人 2024.4 2,640円	イチゴを食べたのは誰！ 犯人を見つけから、イルマの心は変わっていったのです…。 ねずみのイルマは庭のお世話が大好き。大切に育てたイチゴが大きく実りました。ところが大変！イチゴがかじられているのです。イルマはもうかんかんです。誰がそんなことをしたのでしょうか？北欧の人気ブランドマリメッコのデザイナー作品。優しい気持ちがめばえる絵本。
8		いそがなくてもいいんじゃない？ イーティン・リー/作 橋本 あゆみ/訳 978-4-7598-2442-1	化学同人 2024.5 2,640円	ウサギとカメ。いそがなくていいんじゃない？もうまてないよ！さあ、どっちがウサギでどっちがカメ？こんな性格の二人だから楽しめる毎日が描かれている。 カメが遠くの山を眺めて言いました。「いつかのぼってみたいな」とウサギは言いました。「あしたいこうよ！」早く行きたいウサギと、ゆっくり準備をするカメ。「ちょっとまって、」「あとちょっと」「もうちょっと」といったいなを言っているのでしょうか？ようやく出発したと思ったら、困ったことが次々と…。
9		DJ YOYO アゲイン おおなり 修司/文 飯野 和好/絵 978-4-87110-499-9	絵本館 2024.2 1,540円	ラップ風絵本『DJ YOYO』が再び登場だYO!! 勉強している時、ぼくの部屋には時々、DJ YOYOが現れる。 YOYO あそぼうYO いましゅくだいやってるからだめだよー すこしくらい、だいじょうぶだYO 遊びたい気持ちをぐっと我慢して勉強している時、君の部屋にもDJ YOYO (ディージェイヨーヨー)が現れるかもYO!!
10		きこえないこえ 内田 麟太郎/作 竹上 妙/絵 978-4-333-02914-3	佼成出版社 2024.1 1,540円	人には聞こえない超低周波を使って会話をする事ができるといわれている、ゾウとクジラ。象牙を目的に、人の手より乱獲された結果、群れの中で最後の一頭になってしまったアフリカゾウは、はるか沖にいる友、クジラにむかって、自分たちアフリカゾウの来し方を静かに語り出した……。 愛する仲間たちをつぎつぎと見送り、いまは独りになってしまったゾウがクジラに伝えたかったことは――？ ゾウやクジラは、人には聞き取ることができない超低周波で、仲間同士、コミュニケーションを図ることができると言われていて、この絵本は、そんな神秘的な声に着想を得ています。密猟問題は今も続いています。ゾウの声に耳を傾けてみませんか…？
小学校・中学年				
1		角が曲がったみつき二号 麦野 圭/作 高山 ケンタ/絵 978-4-580-82590-1	文研出版 2023.4 1,430円	3年生になった充希は、カブトムシの成長に夢中。やっとサナギになった1匹は角が曲がっていた。そのサナギに「みつき2号」と名付ける。 飼育ボトルの中にいるぼくのカブトムシ。名前は、みつき二号。やっとさなぎになった、と思ったら、角が曲がっていた。「こいつ、これじゃカブトになれないよ。」友だちの勇馬くんがいった。パパやお姉ちゃんといっしょに育てたカブトムシだもの、みつき二号はきっとカブトムシになれるよ！
2		調べてびっくり！テントウムシ ゲッチョ先生のテントウムシコレクション 盛口 満/絵・文 978-4-87981-772-3	少年写真新聞社 2023.6 2,200円	身近によく見るテントウムシ。テントウムシのことがよく分かる知識絵本。 種類(いろいろテントウ 大と小 ほか) からだ(体比べ 空似の仲間 ほか) 居場所(公園探検 定点観測 ほか) くらし(街路樹ウォッチング 気になる木 ほか) 世界のテントウ(世界にいろいろ ハワイの七星 ほか)

3		昆虫レストラン ななほへようこそ 藍沢 羽衣/作 ゆうこ/絵 978-4-580-82574-1	文研出版 2023.5 1,430円	昆虫と動画が大好きなアゲハは、昆虫食のレストラン「ななほ」で、天道さんと出会い、昆虫食について伝えるユーチューバー活動を始めるが…。 昆虫と動画が大好きなアゲハ。昆虫食のレストラン「ななほ」で天道さんと出会ったことをきっかけに、昆虫食のことを伝えるユーチューバー活動を始めたのだが…。
4		カイト Wherever the Wind Blows 石川 えりこ/作 978-4-06-532037-2	講談社 2023.8 1,760円	女の子がカイトを高く飛ばそうとくんぐん糸を伸ばすと…。プツン！風に飛ばされたカイトが空から見たものとは？新しい世界への冒険の物語。 女の子が高く飛ばそうとカイトの糸を伸ばしますが、プツン！風で切れてしまったカイトが空から見たものは…。伸びやかな筆致で石川えりこが描く、空の物語。
5		すごいで！クモの探偵団 谷本 雄治/作 羽尻 利門/絵 978-4-251-04486-0	あかね書房 2023.9 1,430円	東京から徳島へ引っ越ししてきた加奈は、虫が大好きな大地と悠斗にふりまわされつつも、3人で「クモの探偵団」を結成し、自由研究コンクールに応募することに。 東京から徳島の田舎町に引っ越ししてきた加奈は、虫が大好きな大地と悠斗にふりまわされつつも、3人で「クモの探偵団」を結成し、とあるクモ事件の謎をテーマに自由研究コンクールに応募することになる。クモの調査をするうちに、豊かな自然と生き物の多様性の関係に気づくようになり、さまざまな交流に触れて、加奈は生きる力と喜びにめざめていくのだった。のびやかな自然と豊かな多様性を背景にした、出会いと感動の物語。
6		かこさとし童話集① 動物のおはなし<その1> かこ さとし/作・絵 978-4-03-517710-4	偕成社 2023.11 1,980円	かこさとし自らが、長い間にわたって書いてきたお話を編んだ童話集① かこさとしさんは、たくさんのお話をかいていました。この巻は、動物がでてくるお話ばかりが入っています。どこから読もうかな？毎日一話ずつ読もうかな？ からのすのカンタくんの成長のお話「おむすび山のカラスちゃん」から始まり、お寺の境内でありんこたちが大きなお菓子を見つけて大騒ぎする「こつてりチョコ菓子じけん」、1953年に初めて大型紙芝居として描かれた作品を元にしたナメクジのお話「おすましヌルちゃん がんばりヌラちゃん」、両親を亡くした8ひきのこぶたたちが、親切な大人たちの助けによってアイスクリームやさんを始めて大繁盛する「こぶたのアイス さあどうぞ」など
7		かこさとし童話集② 動物のおはなし<その1> かこ さとし/作・絵 かこ さとし/絵 中島 加名/絵 978-4-03-517720-3	偕成社 2023.11 1,980円	かこさとし自らが、長い間にわたって書いてきたお話を編んだ童話集②。 どこからでも読めるお話が詰まっている。 きつねの学校とたぬきの学校を舞台にしたさまざまな学校行事のお話シリーズ、リズムカルな歌にあわせてお話が進んでいく、大忙しの「ハチの花やさん」や、山のてっぺんからころがったおだんごをかめさんが追いかけて起こる騒動「ころころ べたべた びつちゃんこ」、日本の浪曲のようなお話「なまずのじろ長」など
8		かこさとし童話集③ 動物のおはなし<その1> かこ さとし/作・絵 かこ さとし/絵 中島 加名/絵 978-4-03-517730-2	偕成社 2023.11 1,980円	かこさとしによって長い間にわたって書かれていた童話集③ 動物が出てくるお話ばかり。 たくさんのお話でも表現しているユニークなつなひきおとぎ話「かにちゃんおーえす かめちゃんおーえす」、もともと紙芝居だったお話、冒険話と思いきや、じーんとくる「パンちゃんねずみの大ぼうけん」や、動物たちが人間社会への抗議と反省を求め、地球生命の存続のための提言をする「スピッツベルゲン教会の集まり」にはかこさんの深いメッセージが込められています。
9		いろいろないきもの かぞくのカタチ 澤口 たまみ/文 たしろ ちさと/絵 978-4-8340-8746-8	福音館書店 2023.11 1,540円	カラス、ペンギン、クマノミ、クマ、ゴリラ、さまざまな環境でくらす生きものたちは、どんな家族のカタチがあるのか？！動物の様子が分かりやすく、絵もよい。 コウテイペンギンはお父さんがミルクを出す？！ツキノワグマのお母さんの奮闘子育て。性別が変わるカクレクマノミにびっくり仰天！驚きと感動。初めて読む生きものノンフィクション。
10		鳥がおしえてくれること 鈴木 まもる/作 978-4-7515-3181-5	あすなろ書房 2024.3 1,760円	人間の家や道具、歌や踊りなどは、実は鳥からの影響だったかもしれない。鳥の巣研究者である著者のユニークな文化人類学入門絵本。 昔の人は、さえずる鳥や空を飛び鳥を見て、何を感じたのでしょうか。服や家や道具、歌や踊りなど、身のまわりの色々な物や行動が、実は鳥からの影響だったかも…？絵本作家にして鳥の巣研究者である著者のユニークな絵本。
小学校・高学年				
1		ハミングベアのくる村 キャサリン・アップルゲイト/作 尾高 薫/訳 978-4-03-728030-7	偕成社 2024.1 1,870円	ハミングベアは、その美しい巣とかわいらしい姿でみんなに好かれ観光客を集める。サラビーは、くさいにおい、うるさい叫びでみんなにきらわれ駆除されている。パーチャンス村の少女ウィロディーンは、そのサラビーが大好きだった…。 パーチャンス村には年に一度、ハミングベアたちがわたってきて美しい巣を作る。一方、ウィロディーンの大好きな動物サケビーは、村で駆除され、いなくなってしまう。怒りの涙を流すウィロディーンのもとに、とつぜん赤ちゃんサケビーがあらわれた！自然と人間の共存をめぐる物語。

2		竜が呼んだ娘 1 弓の魔女の呪い 柏葉 幸子/作 佐竹 美保/絵 978-4-06-534173-5	講談社 2024.1 1,870円	<p>この村では十歳になると村を出る子がいる。しかし、誰もが出られる訳ではなく、竜と呼ばれた子のみ。この年、十歳になるミアは竜と呼ばれ村を出ることになるのだが…。シリーズ1冊目。</p> <p>竜に選ばれ、初めて村を出た少女が降り立ったのは瑠璃色の王宮。人気シリーズの新装版！ 竜は、あちこちから湯気をふきだしているそのテラスにおり立った。「私、王宮に一」ミアは、つぶやいた。王宮で暮らすのだと、やっとわかった。</p>
3		ともだち 椰月 美智子/作 978-4-09-289335-1	小学館 2024.3 1,430円	<p>小学校生活最後の年、小学6年生。ジュン、スカイ、ジン、レオン、ミナ、ルイ、みんな仲の良い友達だ。楽しい学校生活ではあるけれど、いろんな事件が起きて…。それぞれの思いに気付き、巣立っていく。</p> <p>毎日小学生新聞連載小説が単行本になった！いろんな子がいて、いろんな気持ちがある。 あわてもののジュン、中学受験を目指しているスカイ、人気者のシン、おっとりしているレオン、かわいいものが大好きなミナ、しっかり者で正義感の強いルイ、みんな仲の良い友達だ。6年生は、小学校最後の年。卒業までの毎日を笑ったり怒ったり熱くなったり…。何があっても“ともだち”だよ。</p>
4		ロボットのたまごを ひろったら 奈雅月 ありす/作 酒井 以/絵 978-4-591-18144-7	ポプラ社 2024.3 1,760円	<p>ロボットの赤ちゃんを育てる？！性格のちがう3人が、ロボットをきっかけに友情を深めていく冒険物語。</p> <p>ボク、財前巧。常に論理的思考と効率性を重視し、友だちなんていらないと考えていた。ところが、ひよんなことからクラスメイトとロボットを育てることになったのだ。なにもできず、手間をかせさせるだけの赤ちゃんロボットなんて、作った意味がわからない！まったく性格の異なる三人が赤ちゃんロボットを通して次第に心を通わせていく友情の物語。</p>
5		おとうとのねじまきパン ずっとむかし、満州という国であったこと 高橋 うらら/著 978-4-7726-1553-2	合同出版 2024.4 1,760円	<p>4才だった和子は日本が中国に作った満州という国に移り住むことになる。子どもだったがゆえに何も知らず幸せな毎日を送っていたが、時間が経つことにその暮らしは変わってゆく。時代が変わり、満州国のことを知らない人も増えてゆく中、現代の子どもたちに読んでもらいたい本当にあった「家族の物語」。</p> <p>満州の悲しい歴史をやさしく語るノンフィクション。 「満州国」を知っていますか？戦争が終わった時「満州国」にはたくさんの日本人が取り残された。13歳の少女、和子さんもその1人だった…。</p>
6		たべてみて！ フリーダ・キャプランがひろげた食のせかい マーラ・ロックリフ/文 ジゼル・ポター/絵 福本 由紀子/訳 978-4-7764-1113-0	BL出版 2024.1 1,980円	<p>マッシュルーム、キウイフルーツ、ハバロネなどの新しい野菜や果物を紹介したフリーダ・キャプラン。フリーダはアメリカで初めて野菜や果物の卸売業を営んだ女性。「見たことのない食べ物を味わうって、わくわくする冒険なの。しかもおいしいのよ！」と教えてくれる。</p> <p>フリーダが野菜や果物を売りはじめたころ、スーパーマーケットにある青果は65種類ほどでした。今では700~800種類もあります。その多くはフリーダ社が紹介したものです。けれども、フリーダは、トマティーヨやアルファルファスプラウト、マンゴスチンやマルメロをアメリカで紹介しただけではありません。フリーダは、「見たことのない食べものを味わうって、わくわくする冒険なの。しかもおいしいのよ！」と、教えてくれたのです。</p>
7		うんこ虫を追え 館野 鴻/文・絵 978-4-8340-8783-3	福音館書店 2024.5 1,430円	<p>魅力的なオオセンチコガネを飼育している著者。飼育は失敗の連続だが、自分の納得がいくまでやっていく過程がおもしろい絵本。著者のあとがきも必読。</p> <p>美しい姿をしたオオセンチコガネという虫がいます。この虫の大好物は、うんこ。成虫は動物のうんこを食べ、うんこの塊を地中に作って幼虫を育てることが知られています。しかし、土の中での幼虫の生態は謎につつまれてきました。絵本作家の館野鴻さんが、知恵と根性と体力で、うんこ虫のくらしの解明に挑みます。失敗を繰り返す、取材にかかった月日は4年。現代のフェアブル昆虫記のような、オオセンチコガネの一大観察記です。 たくさんのふしぎ傑作集</p>
8		アインシュタインをすくえ！ 時間と空間をこえた8日間 コーネリア・フランツ/作 スカイエマ/絵 若松 宣子/訳 978-4-7999-0460-2	文溪堂 2024.1 1,870円	<p>12歳の誕生日、ニューヨークへの船旅をプレゼントしてもらったエミリー。ところが突然、第一次大戦前のまったくちがう豪華客船にタイムスリップしてしまっていた！同じく現代から時空をこえてきた男の子ふたりと一緒に、元の時代に帰る方法を探しますが、トラブルが次々と起こり…。こんな状況から現代に帰るために頼れるのは、あのアインシュタインしかない！？</p>
9		ぼくの色、見つけた！ 志津 栄子/作 未山 りん/絵 978-4-06-535439-1	講談社 2024.5 1,650円	<p>「色覚障がい」を隠して生活する信太郎。障がいを受け入れられず反抗的な態度の日々をおくっていたある日、ゴッホの絵と出会う。少しずつ自分を受け入れ成長していく物語。</p> <p>「あれ、あれれ。おまえ、チョコレートを食べたのかあ」ぼくの絵を見て、最初に笑ったのは足立友行だ。「口にチョコレートがついてるよ」口にチョコレートがついているって？ぼくは自分の描いた似顔絵をまじまじと見た。これ、口の色じゃなかったのか。—自分の「世界の見え方」に向き合い、自分なりの「光」を見つけていく物語。</p>
10		ブルーラインから、はるか 林 かんじろう/作 坂内 拓/絵 978-4-06-535558-9	講談社 2024.5 1,540円	<p>夏休みに入った図書館で、小6のコタは小4の風馬に声をかけられた。「自由研究を手伝ってほしい」と。広島県のしまなみ街道ブルーラインコース往復140kmと一緒に自転車で走るようになった二人の冒険の物語。</p> <p>「もしもみだったら、ぼくの自由研究につきあってほしいんだ」ママチャリとクロスバイク。小6と小4。広島県・尾道市から愛媛県・今治市までをつなぐ、全長70kmのしまなみ海道ブルーラインコース。夏の日、自転車で往復140kmを走破できるか—。</p>

2024年度(令和6年度)

夏休みにおすすめする本

選定 北海道学校図書館協会

選定協力 札幌市学校図書館協議会

	表紙画像	書名 著者名他 ISBNコード	出版社 出版年(月) 税込価格	※選定コメント もしくは出版社による紹介など
中学校				
1		スラムに水は流れない ヴァルシャ・バジャージ/著 村上 利佳/訳 978-4-7515-3184-6	あすなろ書房 2024.4 1,760円	インドの都市ムンバイが舞台。映画産業が盛んなハリウッドの街でありながら、その街では貧困と水不足で苦しむ人々が暮らしている。12歳の少女ミーナが友や家族と共に強く生き抜いていく物語。 そもそもの問題は、水がたりないことだった。インド有数の大都会ムンバイ。ミンと兄サンジヤイが暮らすスラムには、ムンバイの人口の40パーセントが住んでいるにも関わらず、水は市全体の5パーセントしか供給されていない。水不足がきびしくなる三月のある夜、サンジヤイが「水マフィア」を目撃してしまい…。家族の絆、友情、そしてインドの「今」を描く、手に汗にぎる物語！
2		ブロックでなんでもつくる！ ビルダーの頭の中 三井 淳平/ビルダー(制作・文) 978-4-03-636420-6	偕成社 2024.4 1,760円	デンマーク生まれのレゴブロック。これを使って作品を作る人を「レゴビルダー」という。プロとして活動する三井さんの作品にける制作話と技術。作品制作のQRコード付き。「みんなの研究」シリーズの1冊。 あらゆるものをレゴブロックだけ、設計図なしでくみだてる！世界で21人、日本で唯一のプロレゴビルダーによる研究と実践の書。 ブロックとの出会いは1歳のとき。学生のころから作品制作と発表を続け、大学時代には日本初のプロのビルダーに。設計図なしで、大きなものから小さなものまでなんでもつくっちゃう、ビルダーの頭の中をのぞいてみよう！
3		6days 遭難者たち 安田 夏菜/著 978-4-06-535559-6	講談社 2024.5 1,650円	山に登ることは100%自己責任。不十分な装備で登山を試みた美玖たち高校生三人は誤った判断を続け、遭難した。自らの命と向き合った6日間の記録。 亡くなった山好きの祖父への後悔を胸に抱く美玖。大好きな母の乳がん再発におびえる亜里沙。母が再婚し、幸せな家族の中で孤独を感じる由真。3人の女子高生は各々の理由から、ともに山に登り始める。日帰りできる「ゆる登山」のつもりだった3人だが、下山の計画を変更したことで、道を見失う。途絶える電波、底をつく食料、野宿、低体温症、幻覚…絶望。生と死の狭間で、三人がつかんだものとは？
4		学校に行かない僕の学校 尾崎 英子/作 978-4-591-18173-7	ポプラ社 2024.5 1,760円	中学二年生の薫は、森のフリースクール「ツリースクール」にやって来た。家族どうまくわいていない子、辛い過去を背負っている子、何のために勉強しているのかわからない子。自分を認め、許し、前を向いて進んでいくためにある場所の物語。 僕が選んだのは、寮付きの森のフリースクール。中2の初夏、僕＝氷川薫はある出来事から生活が手につかなくなり、学校に行けなくなってしまった。家からも離れたくて、自分で見つけた寮付きのフリースクールに行くことに決めた。…自分の好きなことを見つけた薫は、前に一歩を踏み出す。学校に行かなくても、不安にならなくていいし、学校を通らない道もちゃんと未来につながっている。
5		空と星と風の歌 小手鞠 るい/作 堀川 理万子/絵 978-4-494-02083-6	童心社 2023.11 1,430円	「在日朝鮮人」「朝鮮人」だからと差別されてきた朝鮮ルーツを持つ方々の話から、自分たちは日本人としてどう生きるかを問う物語。 「わからないだろうなあ、日本社会で、自分が日本人であるということ、砂つぶひとつひとつも疑ってみたことのないだろうあなたには、到底、わからないでしょう。ま、わからなくて、当たり前だけれど」在日朝鮮人二世の男性との出会いが、中学生・空奈の心を大きく揺さぶった。
6		17シーズン 巡るふたりの五七五 百舌 涼一/著 978-4-06-534453-8	講談社 2024.2 1,650円	過去のトラウマから引っ込み思案になっている音々。体育祭のスローガンを考えたことがきっかけで句会へ。言葉の力を感じ、自分らしさを見つめなおす物語。 学校で「ぼっち」の松尾音々は、体育祭の「スローガン」決めをきっかけに、クラスの優等生の天神くんから句会の誘いを受けた。そこに参加した音々は、詠まれた俳句を聞いて、その世界が目の前に現れるような、不思議な感覚を覚える。「五・七・五」の17音を紡ぎ、吐き出すことで、音々の新しい青春が動き始める。
7		透明なルール 佐藤 いつ子/著 978-4-04-114541-8	KADOKAWA 2024.4 1,650円	「目立ってはいけない。ハブられないようにふるまう。」中学二年生の優希はそんな風に過ごしている。ギフテッドの生きづらさ、同調圧力、「目に見えないルール」とは何なのか？ 勇気をもらえる物語。 「目立つことしたら、いじられちゃうよ」「人にどう思われるか」を気にしすぎる女子中学生が、不登校ぎみの転校生やマイペースな学級委員との交流を通じて、自分を縛る「透明なルール」に気付き、立ち向かっていく。共感の連続々！ 友だち、先輩、親との空気の読み合い。息苦しさの先に見つけた希望の物語。

KADOKAWAのシステム障害により、書影使用申請フォームが利用できないため。トーンハン、日販、絵本ナビなどのサイトで確認をお願いします。

8		<p>それでも私が ホスピスナースを続ける理由</p> <p>ラプレツィオーサ伸子/著 978-4-05-205947-6</p>	<p>Gakken 2024.5 1,210円</p>	<p>ホスピス先進国のアメリカで、「在宅ホスピスナース」の仕事に就いた著者の体験と思いをベースに描いたノンフィクションベースの小説(本文より)。誰にでも訪れる最後の時、看取りの15の短編。</p> <p>ホスピスとは、もう治癒の見込みがない病人に行われる「終末期医療」のこと。そして、その仕事に従事するのがホスピスナース。死の旅に出る人々と、その家族の姿を、著者が体験した実話をもとに物語化した、淡々とした中にも感動がこみ上げる連作短編集。</p>
9		<p>要の台所</p> <p>落合 由佳/著 978-4-06-535296-0</p>	<p>講談社 2024.4 1,650円</p>	<p>同じものを食べておいしいと思えるのは、すごいことなのかもしれない。中学生の要は、隣の家のネパール人サリタと、料理を通して交流する。シリーズ『天の台所』でおなじみのがみパパも登場する。</p> <p>クラスメイトに「いてもなくても同じ」と言われる要は引込み思案。そんなある日、家のベランダでネパールから来たおとなりさん、サリタに出会う。泣いているサリタを前にした要は、作ったばかりのクッキーを差し出して…。ちがう文化で育ってきたサリタと友だちになりたいと願う要は、近所の厳しいおばあさん、通称「がみパパ」先生に料理を教わることに。料理に力を借りて友情を育む二人の、ひと夏の物語。</p>
10		<p>闇に願いを</p> <p>クリスティーナ・スントーンヴァット/著 こだま ともこ、辻村 万美/訳 978-4-86389-753-3</p>	<p>静山社 2024.3 1,980円</p>	<p>刑務所を脱走した少年と、刑務所所長の娘である少女。少女は脱走した少年を追う。情報操作、人権問題、権力の独占。法を守るとは？正義とは何なのか、深く考えさせられる力強い物語。</p> <p>刑務所の庭の巨大なマンゴーの木の下で、街の光を眺めている少年の名前はボン。彼は法律により、13歳になるその日まで、刑務所を出ることができません。何の罪をおかしたのでしょうか？いいえ、ただ「刑務所で生まれた」というだけで。ボンは、あの光の下には自由が待っていると信じていました。ところが、ボンは知ってしまったのです。13歳になってここを出たあとも、自分はかつて本当の自由を手にするのではないのだと。</p>
高等学校				
1		<p>成瀬は信じた道をいく</p> <p>宮島 未奈/著 978-4-10-354952-9</p>	<p>新潮社 2024.1 1,760円</p>	<p>「成瀬は天下を取りに行く」の続編。成瀬は相変わらず、人からどう思われるかは眼中にないのだ。自分が人としてどうありたいかだけ、迷いはない。言葉が生きて届くと人は変わるのだ。</p> <p>唯一無二の主人公、再び。その前途、誰にも予測不能！成瀬の人生は、今日も誰かと交差する。「ゼゼカラ」ファンの小学生、娘の受験を見守る父、近所のクレーマー主婦、観光大使になるべく育った女子大生……。個性豊かな面々が新たに成瀬あかり史に名を刻む中、幼馴染の島崎が故郷へ帰ると、成瀬が書き置きを残して失踪しており……。？読み応えますますパワーアップの全5篇！</p>
2		<p>板上に咲く MUNAKATA : Beyond Van Gogh</p> <p>原田 マハ/著 978-4-344-04239-1</p>	<p>幻冬舎 2024.3 1,870円</p>	<p>「ワあ、ゴッホになる！」。画家になる夢だけで上京し、苦難の果てにたどり着いた表現「板画」！世界のムナカタを妻・チャの目線で描く物語。</p> <p>「ワあ、ゴッホになるッ！」1924年、画家への憧れを胸に裸一貫で青森から上京した棟方志功。しかし、絵を教えてくれる師も、画材を買いお金もない。その上、弱視のせいで遠近感をうまく表現できず、帝展に落ち続ける日々。そんな彼が辿り着いたのが木版画だった。「板画」が引き金となり、棟方は日本の、世界の版画界を劇的に変えていく。棟方と苦楽を共し、支えた妻・チャ。無尽の愛と激動の時代を描く、待望の書き下ろしアート小説。</p>
3		<p>バッタを倒すぜ アフリカで</p> <p>前野ウルト浩太郎/著 978-4-334-10290-6</p>	<p>光文社 2024.4 1,650円</p>	<p>『バッタを倒しにアフリカへ』の？！の連続のフィールドワークから7年。食糧危機の原因となるバッタの大発生を防ぐための研究・実験の成果はいかに。</p> <p>13年間、世界中を飛び回り、重ねてきたフィールドワークと実験は、バッタの大発生を防ぐ可能性を持っていた！現実を舞台にした異世界転生ストーリー、ついにリポート！</p> <p>新書大賞受賞、25万部突破の『バッタを倒しにアフリカへ』続編。</p> <p>光文社新書</p>
4		<p>赤と青のガウン オックスフォード留学記</p> <p>彬子女王/著 978-4-569-90400-9</p>	<p>PHP研究所 2024.4 1,320円</p>	<p>女性皇族として初めて海外で博士号を取得された彬子女王殿下による英国留学記。英国のオックスフォード大学マートン・コレッジでの、2001年9月から1年間、そして2004年9月から5年間の留学生活の日々。</p> <p>オックスフォード大学の厳しい博士課程を成し遂げた者しか袖を通すことを許されない赤と青のガウンは、くじけそうになったときにふと頭に浮かび、オックスフォードに来たときの自分に立ち返らせてくれる「目標」だった。</p> <p>PHP文庫（2015.1初刊を文庫化）</p>
5		<p>戦争は、</p> <p>ジョゼ・ジョルジュ・レトリア/文 アンドレ・レトリア/絵 木下 真穂/訳 978-4-00-061639-3</p>	<p>岩波書店 2024.4 2,200円</p>	<p>「戦争は、自分がどこで恐れられ、歓迎されるかを、よくわかっている。」戦争の本質を静かに描く絵本。ポルトガルを代表する文学者の詩と、息子の絵で、そつと差し出される戦争の正体。</p> <p>戦争は、何も知らない人たちの柔らかな夢に入りこむ。戦争は、物語を語れたこともない。一気づかぬうちに進行する病気のように日常をずたずたにし、野心や憎しみを糧に貪欲に育つ戦争。自らも独裁政権に抗した、ポルトガルを代表する文学者の詩とその息子による絵で、戦争の残酷な本質を描く。今こそ読まれるべき、衝撃的な絵本。</p>